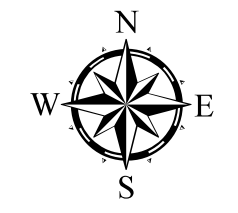
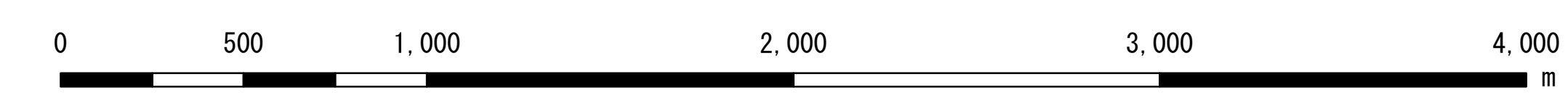
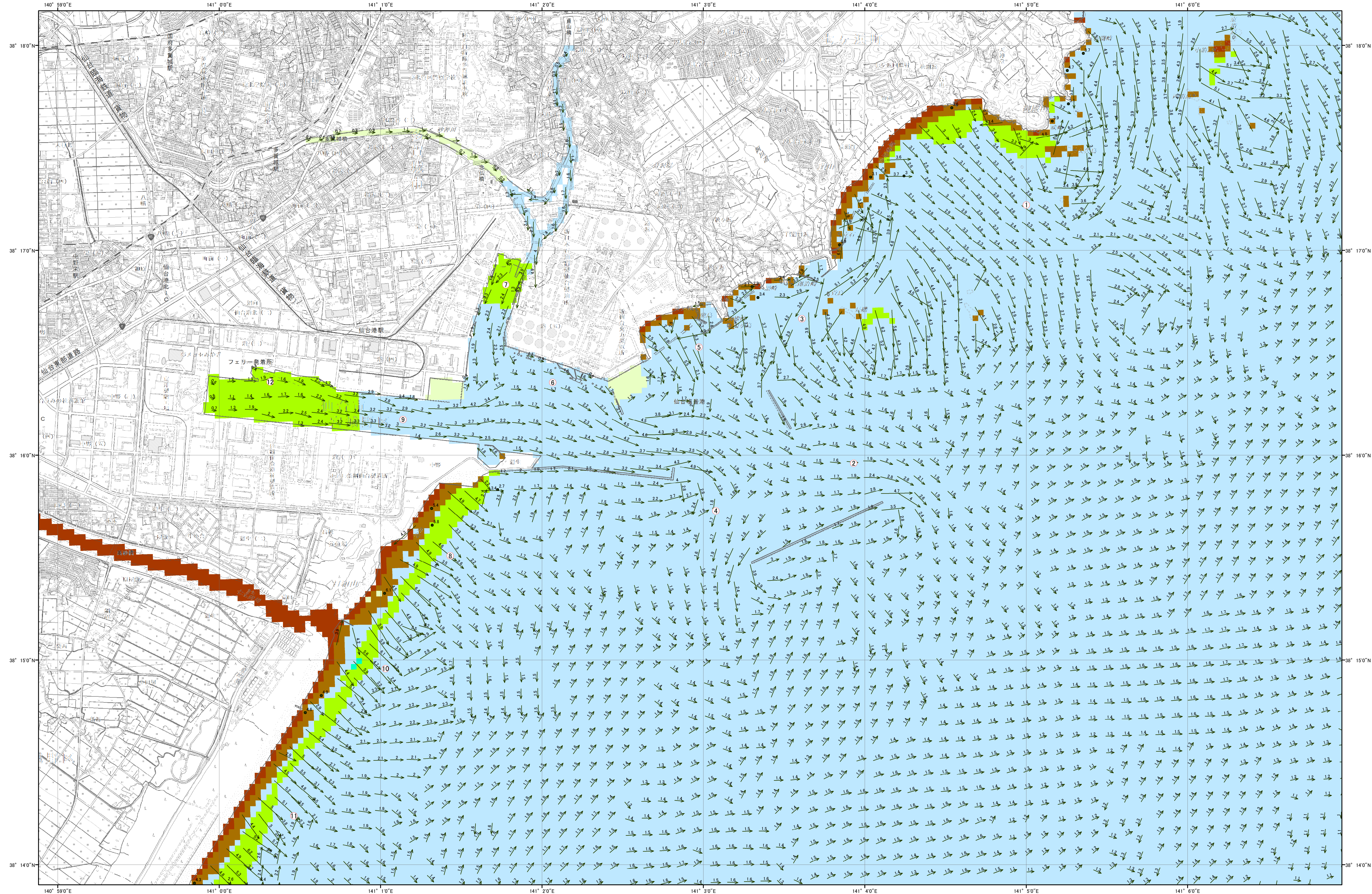


計算条件：最低水面（零位）
 隆起量：平均 0.00m
 Zo：0.93m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

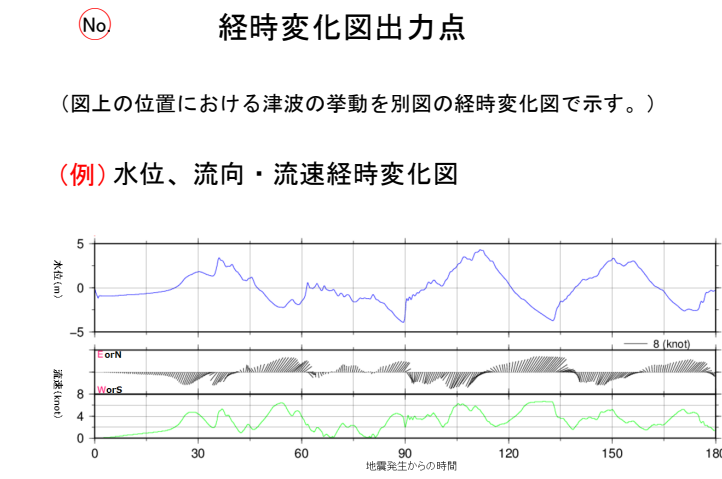


座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)



凡例

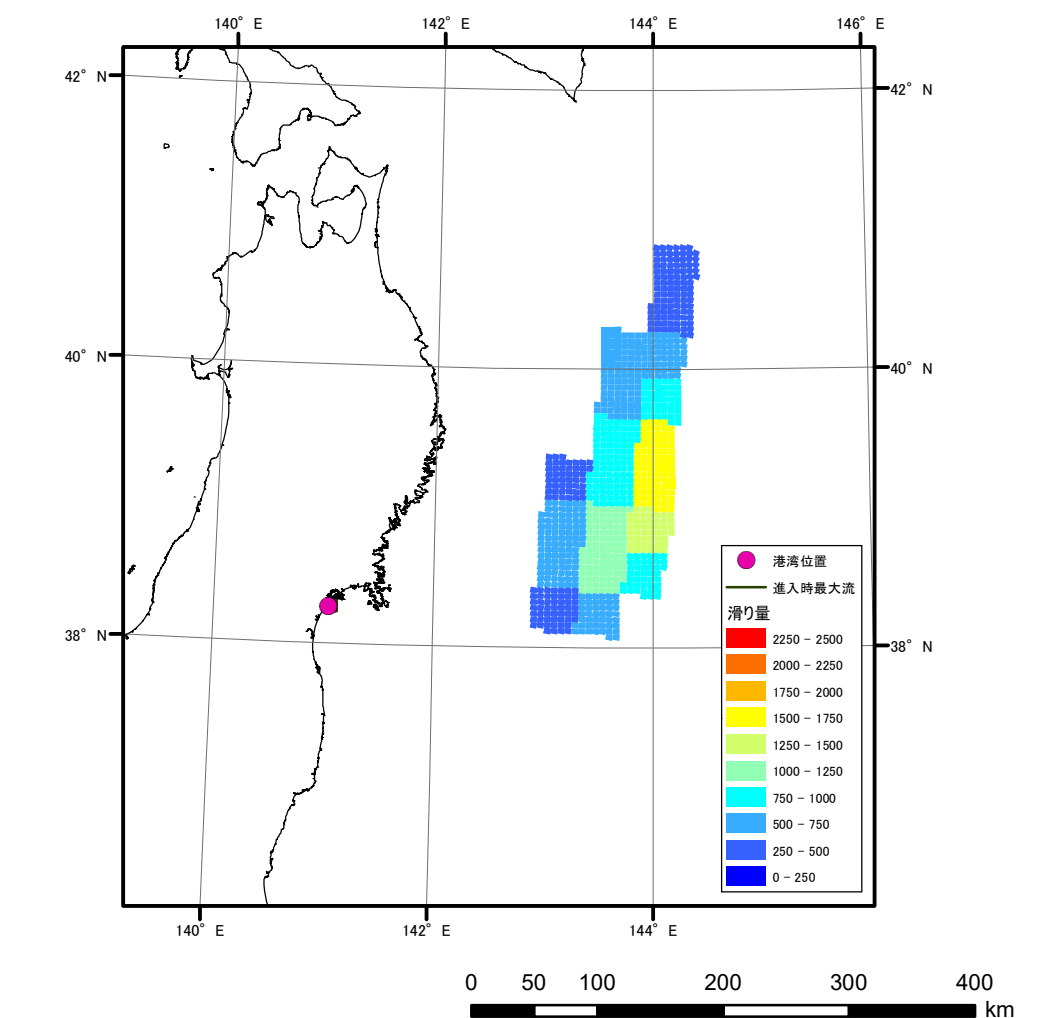
- 最大水位低下
- 3~最大3.1m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
 - 干出域
 - 露出域



- 引潮時最大流 [knot]
- 3 knot
 - 2 knot
 - 1 knot

- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。

断面モデル



明治三陸地震
 モーメントマグニチュード Mw 8.6

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ (標高)・10mメッシュ (標高)、及び数値地図25000 (地図画像) (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平28情保、第1374号 平成29年3月10日)

本断面モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。